

心輝け子どもたち!

☆今後の授業づくり研究部会の予定☆

10月26日(火) 18:00~教育館3研
児童が意欲的に考えるための工夫について

お問い合わせは
千石小 加藤 兼幸 まで

授業づくり研究部会 夏季道德講座

講師:城西小学校長 安田 隆 先生

将来出会うであろう場面で、いろいろな場合や可能性を考え、主体的に選択できる子どもを育てたいですね。

毎週一時間の道德の時間に種をまかないと、思いやりの心や、生命を大切にする心の花は、咲かないんですよ。

道德の授業をやればやるほど子どものよさが出る。そんな授業をたくさん実践してください。

バーチャルなままでは
終わらせない!

生き方の幅が広がる時間です!

「自分はどうかであったのか、自分はどうかだろう?」と、自分とのかかわりを考えさせること。これこそが道德の時間の指導で、一番大切にしたいことです。そして、自分なりに発展させることが大切です!

<演題>

何故
道德の時間の指導が
必要ですか

バーチャルな場だからこそ
言えるんです!

資料をもとに、
無意識であったことを
意識化させる時間です!

バーチャルな世界である資料の中で考えるから、自由に意見が言えます。また、自由な意見が聞けます。

こらも 心のアンテナ

コミュニケーション能力と道德の授業

猪子石中学校長 日野 正 行

コミュニケーション能力(以下、CAと略す)の育成は重要な課題ですが、企業ベースのCAあり、教育的見地のCAありと、育成する内容やスキルは様々です。そのなかで、私には「メラビアンの法則」が印象的でした。この法則は、話し手の単なる言葉(文字情報)よりも、感情がこもった抑揚・声の質(聴覚情報)や動作(視覚情報)の方が、聞き手に強く影響を及ぼすという法則です。文字情報はフロッピー、聴覚情報はCD、視覚情報はDVD、容量が違うからでしょうか……。

「メラビアンの法則」の活用を通して、道德の授業に、次のような効果が期待できます。(「行間を読む」という従来からの視点と変わらないのかも……。)

- 主人公や他者・周囲の気持ち、雰囲気や空気を理解する。
- 中心発問の場面の背後(雰囲気や空気)にも注目する。
- ロールプレイの活用に役立てる。
- CAを向上させる。

また、空気を読むといった受動的なCAだけでなく、他者や社会にいかに関わりかかるといった、能動的なCAについても、研究する余地があると考えます。

文科省はCAの一層の育成に向け、演劇・ダンス等芸術表現を学校教育に普及させることを含めた

「コミュニケーション教育推進会議」を5月に立ち上げ、23年度に提言事項を公表する予定です。この動向も能動的なCAの観点から注視していきたいと思ひます。